

科目名	SCH100: 人間学 I ④ <月のみ>				担当教員	島村 絵里子		
開講期	春	開講時限	月 2 限	研究室	4号館 2階 講師控室	オフィスアワー	P.16 を参照のこと	
分類	必修	単位	2	標準受講年次	1 年	連絡先	e-shimamura@sophia.ac.jp	
DP 及び 学修成果	DP 分類	DP (卒業認定・学位授与の方針) 概要					学修成果獲得の観点	
	1,2	キリスト教ヒューマニズムの精神に立脚し、他者とのかかわりの中で自己形成を行う力を身につけます。学術的な学びを行うために必要なアカデミックスキルを身につけ、幅広い教養を修得できます。					1-①,2-①	
キーワード	人間の尊厳、かかわり、コミュニケーション、生きる意味							
授業の 概要	建学の精神であるキリスト教ヒューマニズムに基づき、「人間とは何か」という問いについて、「かかわり」という視点から学際的な考察を行う。テキスト講読を通して、「他者のために、他者とともに」生きることを模索し、各人固有の存在意義を実現する人生への道しるべを探求する。							
達成目標	「人間とは何か」という問いと向き合い、自分自身、家族、他者、国際社会、自然、神との「かかわり」について真剣に考察することによって、「人格的主体」として生きる人間の「尊厳」の意味を理解できるようになる。							
到達目標	①人間学のキーワードの意味内容を正確に理解し、それらの語句を適切に用いることができる。 ②人間の間生まれ、人間によって育まれ、人間とのかかわりを求めながら生きる自己のあり方を振り返り、「他者と共に生きること」を自分自身の課題として受けとめ、その理解内容を表現できる。 ③社会や自然、そして神とのかかわりの諸相に関心を寄せ、人間が「よく生きるために必要なこと」は何であるかを問い、それを自分自身の課題として表現できる。 ④生老病死の苦しみがあるにもかかわらず、「人はなぜ生きるのか」という問いについて自分の考えを表現できる。							
評価方法	①毎回の事前課題の提出 (22.5%)、②授業への積極的参加 (7.5%)、③授業毎のリアクションペーパー (15%)、④中間課題 (1,000～1,200 字の小レポート) (20%)、⑤期末課題 (2,000 字以上のレポート) (35%)							
評価基準	①毎回の事前課題の提出: 課題となる準備学修を行い、成果物を毎回提出する。 ②授業への積極的参加: 真剣に授業に参画し、活発な意見交換ができること。 ③リアクションペーパー: 授業内容を踏まえ、自分の意見や疑問を分かりやすく記述できること。 ④中間課題: 1000～1200 字の小レポート。 「他者との共生」について、人間学の基本用語を理解した上で、自分の言葉で問題を提起し、その問いについて考察した内容を分かりやすく表現できること。 ⑤期末課題: 人間に「生老病死」の苦しみがあることを踏まえた上で、「どうしたら希望をもって生きられるか」について、2,000 字以上の小論文を作成する。最低一冊の参考文献を読み、参考文献の筆者の言葉と自分自身の言葉を区別しながら、参考文献の内容を要約した上で、自分の考えを分かりやすく展開できること。巻末に文献表を付すこと。							
準備学修 の時間	本科目の一回 (90 分) の授業のための授業外学修 (予習・復習) 時間は、平均 180 分が求められる。							

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修 (予習・復習)
1	導入①: 人間学の概要・目的・授業の進め方	講義・リアクションペーパー	テキスト 6 「自由への旅」 1~3 節の要約
2	導入②: キリスト教ヒューマニズムへの招き	講義・視聴覚・意見交換・リアクションペーパー	テキスト 1 「人間学とキリスト教ヒューマニズム」 1 節の要約
3	1.生きるために必要なものとのかかわり① ～自分のいのちと他者のいのち	講義・視聴覚・意見交換・リアクションペーパー	テキスト 2 「生命のはじまり」 1,2 節の要約
4	1.生きるために必要なものとのかかわり② ～他者のいのちとのかかわり	講義・視聴覚・意見交換・リアクションペーパー	テキスト 2 「生命のはじまり」 3,4 節の要約

授業計画			
回	テーマおよび学習内容	運営方法、教育手法	準備学修（予習・復習）
5	2.人間の成長発達の原因となるかかわり① ～自立と自律	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト3「人間の成長とライフ サイクル」1-4節の要約
6	2.人間の成長発達の原因となるかかわり② ～人生経路のモデルから自分を発見	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト3「人間の成長とライフ サイクル」5,6節の要約
7	3.他者へのかかわりと自己理解の形成① ～自分と他者の「ジェンダー」	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト4「ジェンダーと他者」 の要約
8	3.他者へのかかわりと自己理解の形成② ～人間の尊厳と権利	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト5「公正な社会、差別な き世界へ」1,2節の要約
9	3.他者へのかかわりと自己理解の形成③ ～差別問題の理解と自己理解	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト5「公正な社会、差別な き世界へ」3,4節の要約
10	4.他者へのかかわりにおける自由と責任① ～「自由」の二つの側面	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト6「自由への旅」4,5節 の要約
11	4.他者へのかかわりにおける自由と責任② ～「招きとしての自由」	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト6「自由への旅」6節 の要約
12	5.人生の苦しみの意味と希望① ～死に向かい合うこと	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト7「死をめぐるかかり」 1,2節の要約
13	5.人生の苦しみの意味と希望② ～苦しみに向かい合うこと	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト7「死をめぐるかかり」 3,4節の要約
14	5.人生の苦しみの意味と希望③ ～キリスト教の人間理解	講義・視聴覚・意見 交換・アクションペーパー	テキスト1「人間学とキリスト教 ヒューマニズム」2節の要約
15	まとめ：再び キリスト教ヒューマニズム 「他者のために・他者とともに」	講義・意見交換・ アクションペーパー	テキスト1「人間学とキリスト教 ヒューマニズム」2節の要約

テキスト	上智大学短期大学部編 『かかわりの人間学』
参考書	ヴィクトール・フランクル（池田香代子訳）『夜と霧』みすず書房 エーリッヒ・フロム（鈴木晶訳）『愛するということ』紀伊國屋書店 キューブラー・ロス（鈴木晶訳）『死ぬ瞬間』中公文庫
その他 特記事項	15回の授業に加え、上智学院理事長による人間学合同授業が行われるので、必ず出席すること。あらゆる文化の基礎には一定の人間観が存在する。必修科目としてキリスト教人間観を学ぶことは、他の人間観と対照するための基軸を得ることである。積極的参加を望む。